

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービスみらい虹		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 12月 26日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 11月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 9日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・不登校の子ども達を受け入れ、学習支援や集団活動を通して安心して過ごせる居場所となっている。	・保護者側の悩みや困り事をくみとりつつ、今のストレングスを見出し、保護者・子ども達と共に将来にむけてよりよい選択が出来るよう支援を行っている。	・子どもの自主性を大切にし、気持ちに寄り添いながら学習や集団活動を支援している。
2	・スタッフ一人ひとりの専門性を生かした学習や活動を行っている。	・定期的に意見を出し合い見直しを行い、固定化しないよう状況に適した内容にしている。	・スタッフ間のチームワークを充実し、支援の向上を目指す
3			

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・勉強時間、集団活動、個別活動などのタイムスケジュールを組むのが難しい。	・子ども達の来所時間が統一されていない。	・現時点では子ども達同士で折り合いをつけており、それも社会性の一つとして受けとめ、見守っている。
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名	放課後デイサービスみらい虹	公表日	2026年 2月 10日					
			利用児童数	13			回収数	7
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい 2	どちらともいえない 4	いいえ 1	わからない 1	ご意見	ご意見を踏まえた対応 室内での運動遊びを前提にはしておりません。ただ、外の空気を感じることが出来るよう月に数回、近くの公園での課外活動を行っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6			1		利用者数に応じた配置数を確保しています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	2		1		今のところ改善の必要はありませんが、今後必要に応じて可能な範囲で対応していきたいと考えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	1	1	1		清潔で心地よく過ごせる環境の提供を心掛けております。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	1				保育士や教育関係者、心理士など専門的な知識を持った人が在籍しています。子どもの特性を十分に理解し、発達段階や心理的なニーズに合わせて適切なアプローチをしています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6			1		遊びや集団活動を通して、ソーシャルスキルが身につくよう、自然な形で行っています。また、小さな目標を達成し、成功体験を繰り返しながら「できる喜び」を感じられるよう支援を行っています。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	1				今後も年2回の面談を行い、保護者と子どものニーズや課題に寄り添った個別支援計画を作成を心がけています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	6			1		放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目を適切に設定し、その上で具体的な支援内容を設定しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5			2		計画内容に沿った支援を行っております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4			3		同じプログラムでも少し変化をつけたり、子どもたちの興味がある事柄や季節に沿ったイベントを実施したりして、活動プログラムが固定化しないように工夫しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3		3	1		交流の計画はありません。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	1				契約時、重要事項説明書にて説明させて頂いております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	1		1		計画書をお渡しするときに訂正や加筆箇所があれば確認しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6			1		ペアレントトレーニングトレーナーの資格がある当事業所の職員が実施しています。年に数回企画しています。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7					個別面談・日々の連絡帳や公式ライン、電話で話を聞き取り、共通理解を図っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6		1		・面談が都合で出来なかつたが、再設定がなかつた。	大変失礼致しました。今後このようなことにならないよう善処いたします。基本的には年2回の面談と、必要に応じて行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6			1		一人ひとりの子どもに寄り添い、保護者の思いを尊重した支援を心がけています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	1	2		今のところ父母の会はありませんが、保護者と連携しながら、必要が生じた時は体制を整えております。また保護者会を年一回行っています。(本年度は8月実施済)

	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5			2		気軽に相談できる体制を整えていますので、いつでもご連絡ください。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7					
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5			2		インターネット環境はセキュリティー会社と契約して万全を期しています。個人情報の漏洩に関して細心の注意を払っています。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6			1		全てのマニュアルを作成するとともに研修を行っています。保護者には、対応について適宜紙面や公式ラインを通して報告をしております。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7					年3回の訓練を行っています。保護者にも分かりやすく訓練の実施報告や内容をお知らせしています。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			2		集団学習で「危機管理」の時間を設けています。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6			1		緊急性がある場合は直ちに保護者と連絡を取っています。軽度の場合はこちらで様子見の上、連絡帳に記載、その後電話もしくはメールにて状況報告をさせていただいています。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	7					
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	7					
	29 事業所の支援に満足していますか。	7					保護者の皆様から信頼を得られていることを大変うれしく思います。更によりよい支援を提供できるようスタッフ一同努力してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後デイサービスみらい虹	公表日	2026年 2月 10日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	運動を中心には考えていないが、室内で出来る限り身体を動かせる活動内容の提供と、月に数回の課外活動を行っている。	子ども達の利用時間がまちまちで、一時的に人数が集中するため、工夫が必要。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		その日の利用者数に応じて人員配置を行っている。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎日、清掃を行い必要に応じてその都度消毒を行っている	・来所時のうがい、手洗いの徹底
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・パーテーションやオフィス家具の配置を工夫し、個別スペースを作っている。また状況に応じて別事業所を活用できる。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・情報交換ノートや月1回の会議で意見交換している	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			スタッフ間で同時に情報共有できる時間と場所の確保
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・情報交換ノートの活用と月1回会議を実施。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・年間計画を立てて実施	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		日常の行動観察や会話などから子どもの特性や支援の方向性を検討している	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目を適切に設定し、その上で具体的な支援内容を設定している	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3	スタッフの稼働時間に差があるため全員参加は難しいが、固定化しないよう複数名で行っている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		様々な教科の集団学習を日替わりで実施したり屋外活動も実施している。	

供	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・打合せに参加できないスタッフには情報交換ノートを活用し周知	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		1	・昨日の支援検証を翌朝実施	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	1	・情報交換ノートを活用し実施	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5			スタッフ全員への周知・徹底
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・子ども達の思いを尊重し、一日のスケジュールを立てて実施	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。				
関係機関や保護者との連携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・教育の関係機関と連携	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2			
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	・福祉サービスへの移行はないが、必要があればいつでも情報を共有できる準備はある。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	1		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	3	・本事業所は他児との交流をうまくできるようになるための活動を行っているため、まずは事業所内での交流をメインに考えている。	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	1		
	34 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・連絡帳や公式ラインを活用している	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援ブログ（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		ペアレントトレーニングトレーナーの資格がある別事業所の職員が実施しています。	
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・契約時に説明。また自由に閲覧できる場所に書面をおいている。	
保	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・保護者の意向は面談時に確認。子ども側とは利用時に聞き取りを行っている。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		保護者とのモニタリングを実施した上、計画を作成し、同意を得た上で支援につなげています。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・公式ラインを活用し迅速な対応ができるよう体制を整えている。	

護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	1	保護者同士の交流の場を年1回設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・迅速な対応ができるような体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・チラシや公式ラインを通して発信。また全事業所内からの発信ツールとして「かわら版」を発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報を収納している書庫の管理、パソコンデータの管理を徹底しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・保護者がいつでも相談できる方策の一つとして公式ラインを開設した	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・保護者には契約時に周知。職員には周知済。訓練も必要回実施。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・年3回の防災訓練を実施	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	1		・サポートブック（保護者記入）、アセスメントシート（管理者が聞き取り実施の上記入）で投薬の有無、かかりつけ医院、アレルギー等の情報を共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	おやつに関して、成分確認を行い提供しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・安全な環境づくりを日々心掛けている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・防災訓練（年3回）など家族に周知し取り組んでいる	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・研修、及び再発防止策を実施	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・定期的な研修を実施している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・現時点で対象児はないが、保護者には「やむを得ない場合の身体拘束」について説明をし、書面にて承諾を得ている。	